

一日中小企業庁の意見交換会における意見・提言

奈良県中小企業団体中央会

中小企業対策について3点程の意見・提言を申し上げます。

1 ものづくり中小企業への支援強化について

～下請体質からの脱却と独自商品の開発、販路開拓への支援について～

多くのものづくり中小企業は、個人消費の低迷や設備投資の大幅減により元請企業からの受注が大幅に減少する等により壊滅的な状況にあります。

今後、仮に大企業を中心として景気回復に向かうとしても、生産拠点のさらなる海外移転による受注減、コスト削減の為の低価格発注等により、中小企業は、ますます苦境に陥っていくことさえ予測されます。

中小企業が生き残っていくためには、中小企業が下請け的体質から脱却し独自の特徴と魅力ある製品、商品の開発、すなわち自社製品のブランド化や独自の販路開拓が何より肝要であります。

このため、中小企業や地域に蓄積された技術、技能、資源を活かし、中小企業の体力に見合った独自の製品、商品の創出を目指す「ものづくり中小企業～オンリーワン企業～」の取り組みへの支援を中小企業の実態に即したものとし、積極的かつ効果的に実施してまいる必要があるものと考えています。

政府においてもよろしくお願ひしたい。

2 中小企業の人材確保、養成、経営支援機能の強化

中小企業は、雇用の維持に汲々とする一方、激変する経営環境に対応できる有能な人材が不足していることも事実であります。

技術革新への対応や農商工連携等の中小企業に適した新分野への進出を図る為の人材確保、養成に力を貸していただきたい。

あわせて、地域力連携拠点として中小企業の日常的な経営支援に取り組んでいる中小企業団体等については、今日の中小企業を取り巻く厳しい経営環境から、より専門的かつ効果的に経営支援機能が発揮できるよう人材の確保、配置等更なる環境の整備充実が必要であります。

政府においても更なるご尽力をお願いしたい。

3 中小企業組合を中心とした中小企業連携組織の活用と支援強化

中小企業が今後とも生き残っていくためには、中小企業のオンリーワン化と同時に中小企業組合を軸とする中小企業間の連携により規模、機能の不足をカバーすることにより産業構造の変化に対応し、新分野の開拓や経営力、生産性の向上を図っていくことも大切な事と考えます。中小企業の後退にあわせ、中小企業組合も元気を失っています。

中小企業組合の活用と支援強化、あわせて中小企業組合を束ねる中央会の機能強化、充実についてもご理解いただくようお願い申し上げます。